

専 門 教 養
令和 2 年 7 月
60 分

受 験 教 科 等
特別支援学校中・高 保健体育

注 意

- 1 指示があるまで、問題冊子を開いてはいけません。
- 2 全て係員の指示に従って、静粛に受験してください。
- 3 机上には、受験票、筆記用具、時計以外のものを出してはいけません。
- 4 他の受験者の迷惑になるような行為、スマートフォン等の使用及び不正行為をしてはいけません。
- 5 解答時間は60分です。途中退出はできません。
- 6 問題冊子のページ数は、22ページです。はじめにページ数を確認してください。
- 7 解答用紙に、**必要事項の記入やマークがない場合や誤っている場合には、解答は全て無効**となります。解答用紙の【1】の欄には、**受験番号を記入し、受験番号に対応する数字をマーク**してください。【2】の欄には、**氏名を記入**してください。ただし、【3】の選択問題を表す欄のマークは**不要**です。
- 8 この問題は、**教科等に関する問題** 1 ~ 4、**特別支援教育の専門に関する問題** I ~ IV の各問題から構成されています。
- 9 問題冊子の余白等は、適宜使用しても構いませんが、どのページも切り離してはいけません。
- 10 問題文中の「学習指導要領」は、特に指示がある場合を除いて、平成29年、平成30年又は平成31年告示の「学習指導要領」を表しています。
- 11 問題の内容についての質問には一切応じません。

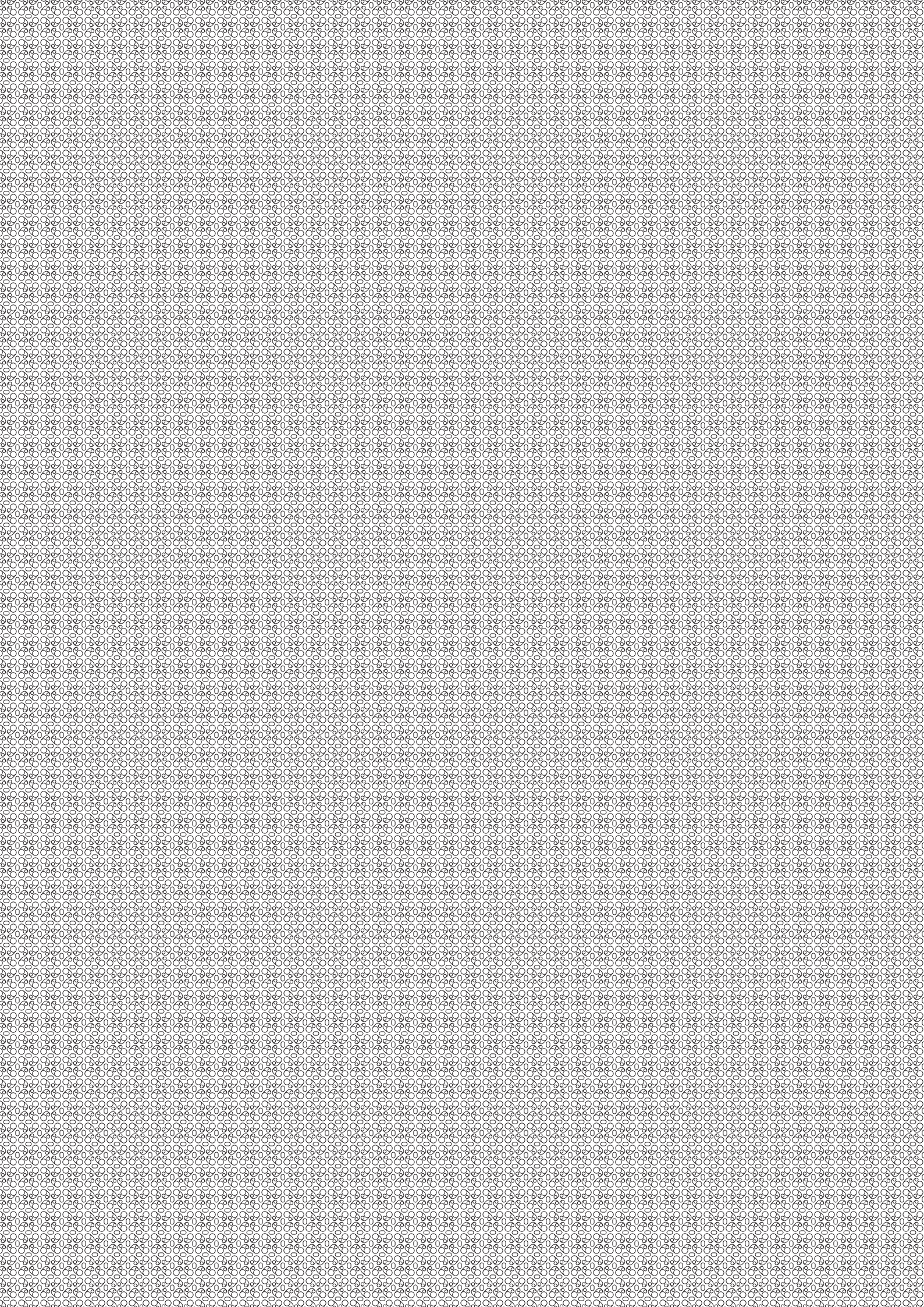
解答上の注意

- 1 解答は、問題文や解答用紙の注意事項に従って、解答欄にマークしてください。問題には、選択肢から選び解答する場合や、数字又は符号（-）を入れて問題文を完成させて解答する場合などがあり、解答方法が複数ある場合とどれか一つのみの場合とがあります。
- 2 「解答番号は 1。」と表示のある問に対して、3と解答する場合には、次の（例1）のように解答番号 1 の解答欄の③にマークしてください。

（例1）

解答番号	解答欄
1	① ② ● ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⊖

解答上の注意の続きを、問題冊子の裏表紙に記載してあります。問題冊子を裏返して必ず読んでください。



教科等に関する問題

1 体育・スポーツに関する次の各問に答えよ。

[問 1] 「令和元年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査報告書」(スポーツ庁 令和元年12月)に示された、中学校生徒の調査結果において、「これまでの保健体育の授業で『できなかったことができるようになった』きっかけ、理由」の回答のうち、男女共に最も割合の高かったものとして適切なものは、次の**1**～**4**のうちのどれか。解答番号は 。

- 1 授業中に自分で工夫して練習した
- 2 授業中に自分の動きを撮影した動画を見た
- 3 授業中に先生に個別にコツやポイントを教えてもらった
- 4 友達に教えてもらった

[問 2] 学校における運動部活動に関する事例として「運動部活動の在り方に関する総合的なガイドライン」(スポーツ庁 平成30年3月)に照らして最も適切なものは、次の**1**～**4**のうちではどれか。解答番号は 。

- 1 A中学校では、競技力の向上を目指した運動部活動に加えて、生徒が楽しく体を動かす習慣の形成に向けた動機付けとなるようレクリエーション部を立ち上げ、生徒の多様なニーズに応じた活動を行うことができる環境を整備している。
- 2 B中学校では、知・徳・体のバランスのとれた「生きる力」を育む「日本型学校教育」の意義を踏まえ、生徒が豊かなスポーツライフを実現するための資質・能力や積極性を育成し、自主性の尊重を図るため、部活動は全員参加としている。
- 3 C中学校では、1日の活動時間に関して、平日は3時間程度、学校の休業日は4時間程度とし、週当たり1日の休養日を設けているが、顧問や生徒たちから、競技力の低下等の心配の声が上がったため、申請した部活動には活動時間等の延長を許可している。
- 4 D中学校では、教師の長時間勤務の解消や生徒の自主的・自発的な活動の推進の観点から、生徒が安全に活動を行っていれば、年間の活動計画の作成や毎月の活動計画及び活動実績の校長への提出を任意とし、教師の負担軽減に努めている。

[問 3] 「オリンピック憲章」(公益財団法人日本オリンピック委員会 2019年10月)に関する記述として最も適切なものは、次の1～4のうちではどれか。解答番号は 。

- 1 オリンピック競技大会は、個人種目又は団体種目での選手間の競争であり、国家間の競争でもある。大会には、国内オリンピック委員会が選抜し、国際オリンピック委員会から参加登録申請を認められた選手が集う。
- 2 オリンピック・シンボルは単色又は5色の同じ大きさの結び合う五つの輪からなり、オリンピック・ムーブメントの活動を表すとともに、五つの大陸の団結、五つの根本原則、さらにオリンピック競技大会に全世界の選手が集うことを表現している。
- 3 国際オリンピック委員会は、困難を乗り越えようと思う精神力、諦めず限界を突破しようとする力、人の心を揺さぶり駆りたてる力、多様性を認め創意工夫をすれば誰もが同じスタートラインに立てることに気付かせる力の四つをオリンピックの価値としている。
- 4 オリンピック・ムーブメントの目的は、オリンピズムとオリンピズムの価値に則って実践されるスポーツを通じ、若者を教育することにより、平和でより良い世界の構築に貢献することである。

2 事故防止及び安全管理に関する次の各問に答えよ。

[問 1] 熱中症対策に関する記述として、「平成30年度スポーツ庁委託事業 学校における体育活動での事故防止対策推進事業 学校屋外プールにおける熱中症対策」（独立行政法人日本スポーツ振興センター 平成31年3月）に照らして最も適切なものは、次の1～4のうちではどれか。解答番号は 。

- 1 水温が28℃の場合、水中でじっとしていても体温が上がるため、プール外の風通しのよい日陰で休憩させるなど体温を下げる工夫をする。
- 2 2013年度から2017年度までの5年間で、学校の管理下におけるプールでの熱中症の発生は、中学校では82件あり、熱中症による死亡事例についても報告されている。
- 3 水中での活動時は、口腔内が水で濡れるため、のどの渇きを感じにくくなるが、水中運動時にはかなりの汗をかくため、適切な水分補給を行う必要がある。
- 4 プールサイドは、直射日光を遮る物体がないので輻射熱が大きく、遮光ネット等により直射日光を遮蔽する必要があるが、散水は滑る危険性があるので行わないようにする。

[問 2] プール施設の安全管理に関する記述として、「学校体育実技指導資料 第4集 水泳指導の手引（三訂版）」（文部科学省 平成26年3月）に照らして最も適切なものは、次の1～4のうちではどれか。解答番号は 。

- 1 排水口や環水口の蓋等をネジ、ボルト等で固定させるとともに、配管の取り付け口には吸い込み防止金具等を設置すること等、二重構造の安全対策を施すが、格子鉄蓋は、かなりの重量があり、水圧が作用するためネジやボルト等で固定しなくてよい。
- 2 遊離残留塩素濃度は、プールの対角線上におけるほぼ等間隔の位置3か所以上の水面下20cm及び循環ろ過装置の取水口付近の水について測定し、全ての点で0.4mg/L未満であることが望ましい。
- 3 プールの原水は、飲料水の基準に適合するものであることが望ましく、大腸菌は検出されないこと、また、水の濁度は5度以下で、水中で3m離れた位置からプールの壁面が明確に見える程度に保たれていることが衛生の基準である。
- 4 水温は23℃以上であることが望ましく、上級者や高学年であっても、22℃以上の水温が適当である。しかし、プールの使用については、水温はあくまで目安であり、対象者の学年、能力、水温、気温、学習内容などを考慮して判断することが大切である。

[問 3] 心肺蘇生法に関する記述として、「J R C蘇生ガイドライン2015」（一般社団法人日本蘇生協議会 2016年2月）に照らして最も適切なものは、次の1～4のうちではどれか。解答番号は 。

- 1 傷病者を発見した際、肩を軽くたたきながら大声で呼び掛け、反応がない場合は119番通報し、反応の有無に迷った場合はその場で継続して様子を見る。
- 2 呼吸の確認には最低30秒はかけ、呼吸がないか異常な呼吸が認められる場合は、心停止と判断し、ただちに胸骨圧迫を開始する。
- 3 気道を確保し人工呼吸をする技術又は意思がない場合には、胸骨圧迫のみのC P Rを行う。
- 4 A E Dが到着したら電源を入れ、メッセージ通りに行動する。除細動実施後は、傷病者に触れることができないので、周囲の安全を確保しながら救急隊を待つ。

3 「体育」に関する次の各問に答えよ。

[問 1] 高等学校入学年次の「体ほぐしの運動」に関する記述として、高等学校学習指導要領解説保健体育編（文部科学省 平成30年7月）に照らして適切なものは、次の1～4のうちのどれか。解答番号は 。

- 1 生活習慣病の予防をねらいとして、「健康づくりのための身体活動基準2013」などを参考に、卒業後も継続可能な手軽な運動の計画を立てて取り組むこと。
- 2 仲間と協力して課題を達成するなど、集団で挑戦するような運動を行うことを通して、心身の状態に気付いたり、仲間と自主的に関わり合ったりすること。
- 3 調和のとれた体力を高めることをねらいとして、体力測定の結果などを参考に、定期的に運動の計画を見直して取り組むこと。
- 4 ステップやジャンプなど複数の異なる運動を組み合わせて、エアロビクスなどの有酸素運動を時間や回数を決めて持続して行うこと。

[問 2] 高等学校入学年次の「マット運動の主な技の例」に関する記述として、高等学校学習指導要領解説保健体育編（文部科学省 平成30年7月）に照らして適切なものは、次の1～4のうちのどれか。解答番号は 。

- 1 マット運動の主な技は、「回転系」、「巧技系」、「支持系」、「切り返し系」の四つの系に分けられる。
- 2 前方支持回転技群の前転グループの基本的な技には、「開脚前転」や「倒立前転」、「跳び前転」があり、発展技には、「伸膝前転」がある。
- 3 ほん転技群には、倒立回転・倒立回転跳びグループとはねおきグループがあり、基本的な技には「側方倒立回転」や「倒立ブリッジ」、「頭はねおき」がある。
- 4 平均立ち技群の基本的な技には、「片足正面水平立ち」や「Y字バランス」、「倒立」があり、発展技には、「片足側面水平立ち」や「倒立ひねり」がある。

[問 3] 次の文章は、中学校第2学年の「水泳」の学習において、ある生徒が学習カードに書いた授業の振り返りに関するものである。この生徒に対する教師の指導に関する記述として最も適切なものは、下の1～4のうちではどれか。解答番号は 。

平泳ぎの練習をグループで行った際、自分の泳ぎを動画で撮影してもらった。長く泳ぎたかったが、進みが遅かったためすぐに立ってしまった。同じグループのA君からは「キックとプルのタイミングを意識するといいよ。」とアドバイスをもらった。自分でも動画で動きの確認をしたので、意識していきたい。

- 1 プルのかき終わりに合わせて顔を水面上に出して息を吸い、キックの蹴り終わりに合わせ次のプルを素早く行い、極力多いストローク数で泳ぐよう指導する。
- 2 手のひらを外向きにして左右に水を押す開き、腕を伸ばしたまま手のひらと前腕を後方に向けるように大腿に触れるまでかき、キックとのタイミングを合わせるよう指導する。
- 3 足の裏で水を左右後方に押し出し、膝が伸びてから両脚で水を押し挟み、両脚をそろえてプルとのタイミングを合わせるよう指導する。
- 4 腕で水をかく間に脚を曲げて踵を引き寄せ、腕を前方に差し出す間に足裏で水を蹴って伸びをし、1ストロークごとに立たせて移動した距離を確認するよう指導する。

[問 4] バレーボールのルールに関する記述として、「2019年度版バレーボール6人制競技規則」（公益財団法人日本バレーボール協会 平成31年2月）に照らして適切なものは、次の1～4のうちのどれか。解答番号は 。

- 1 相手チームのプレーを妨害しない限り、選手は支柱、ロープ、又はアンテナの外側にあるネットや他の物体に触れてもよい。
- 2 相対するチームの二人の選手がネット上で同時にボールに触れ、引き続きインプレーの状態のときは、レシーブをする側のチームは、2回のヒットまで許される。
- 3 サーバーが、サービスヒットの瞬間に反則をしたときに、相手チームにもポジションの反則があった場合、相手チームのポジションの反則となる。
- 4 一人又は二人以上のブロッカーによるボールへの連続的な接触は、一つの動作中であっても許されない。

[問 5] 次の図は、柔道の技を①～⑤の順に示したものである。図に示した技に関する説明ア～エと、技の名称A・Bとの組合せとして適切なものは、下の1～8のうちのどれか。ただし、図中のⒶは「技をかける人」、Ⓑは「技を受ける人」を示している。解答番号は 11 。

掲載許可が得られていませんので、掲載いたしません。

- ア Ⓐは大外刈りをかけ、Ⓑが防御したところに背負い投げをかける。
イ Ⓐは内股をかけ、Ⓑが防御したところに体落としをかける。
ウ Ⓐは小内刈りをかけ、Ⓑが防御したところに体落としをかける。
エ Ⓐは払い腰をかけ、Ⓑが防御したところに背負い投げをかける。

A 変化技

B 連絡技

- | | | | | | | | |
|---|-----|---|-----|---|-----|---|-----|
| 1 | ア-A | 2 | ア-B | 3 | イ-A | 4 | イ-B |
| 5 | ウ-A | 6 | ウ-B | 7 | エ-A | 8 | エ-B |

[問 6] 次の記述**ア**～**エ**のうち、高等学校学習指導要領保健体育の「体育理論」に照らして正しいものを全て選んだ組合せとして適切なものは、下の**1**～**0**のうちのどれか。解答番号は

12

。

ア 「文化としてのスポーツの意義について、自己の課題を発見し、よりよい解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝えること。また、文化としてのスポーツの意義についての学習に自主的に取り組むこと。」を身に付けることができるよう指導する。

イ 「運動やスポーツの技能と体力は、相互に関連していること。また、期待する成果に応じた技能や体力の高め方があること。さらに、過度な負荷や長期的な酷使は、けがや疾病の原因となる可能性があること。」を理解できるよう指導する。

ウ 「体育理論」については、(1)運動やスポーツの効果的な学習の仕方は入学年次、(2)スポーツの文化的特性や現代のスポーツの発展はその次の年次、(3)豊かなスポーツライフの設計の仕方はそれ以降の年次で取り上げること。その際、各年次で6単位時間以上を配当すること。

エ 「現代のスポーツは、オリンピックやパラリンピック等の国際大会を通して、国際親善や世界平和に大きな役割を果たし、共生社会の実現にも寄与していること。また、ドーピングは、フェアプレイの精神に反するなど、能力の限界に挑戦するスポーツの文化的価値を失わせること。」を理解できるよう指導する。

- 1 ア・イ
- 2 ア・イ・ウ
- 3 ア・イ・エ
- 4 ア・ウ
- 5 ア・ウ・エ
- 6 ア・エ
- 7 イ・ウ
- 8 イ・ウ・エ
- 9 イ・エ
- 0 ウ・エ

4 「保健」に関する次の各問に答えよ。

[問 1] 生活習慣病に関する記述として最も適切なものは、次の 1～4 のうちではどれか。解答番号は 。

- 1 生活習慣病の予防には、一次予防と二次予防があり、健康診断などで発病を早期に発見し、早期に治療することを一次予防という。また、疾病が発症した後、必要な治療を受け、機能の維持・回復を図ることを二次予防という。
- 2 脳の動脈に何らかの障害が発生し、それによって脳の機能が失われて全身に影響を与える状態を脳梗塞と呼ぶ。脳梗塞は脳の血管が詰まる脳卒中と、脳の血管が破れる脳出血やくも膜下出血との大きく 2 種類に分けられる。
- 3 内臓脂肪の蓄積を BMI で判断し、加えて高血圧である、血糖値が高い、HDL コレステロールが低いか中性脂肪が高い、の三つのうち、いずれか二つ以上の項目が当てはまると、メタボリックシンドロームと診断される。
- 4 生活習慣を改善すれば予防できるという考えから、食習慣や運動習慣と関連が深い脂質異常症や糖尿病、食習慣やブラッシングの習慣、喫煙などと関連のある歯周病なども含めて生活習慣病という。

[問 2] 次のア～エの文それぞれについて、風疹に関する記述として適切なものには①を、適切でないものには②をそれぞれマークせよ。解答番号はアが 、イが 、ウが 、エが 。

- ア** 風疹ウイルスによって起こる急性の発疹性感染症で、流行は春先から初夏にかけて多くみられる。潜伏期間は 2～3 週間で、主な症状として発疹、発熱、リンパ節の腫れが認められる。
- イ** 妊婦、特に妊娠後期の女性が風疹にかかると、胎児が風疹ウイルスに感染し、難聴、心疾患、白内障、そして精神や身体の発達の遅れ等の先天性風疹症候群に罹患した子供が生まれる可能性があるが、2014 年以降報告はない。
- ウ** 妊娠前に 1 回の予防接種を受けることによって、成人女性なら妊娠中に風疹にかかることを予防し、又は妊婦以外の方が妊婦などに風疹をうつすことを予防できる。幼児は、風疹にかかっても通常あまり重くない病気であるため予防接種を受ける必要はない。
- エ** 現在の風疹の感染拡大を防止するためには、30～50 代の男性に蓄積した感受性者を早急に減少させる必要があり、厚生労働省はこれまで風疹の定期接種を受ける機会のない男性を対象に、風疹の抗体検査を前置した上で、定期接種を行っている。

[問 3] 学校における性教育の進め方に関する記述として、「性教育の手引き」(東京都教育委員会 平成31年3月)に照らして**適切でないもの**は、次の1～4のうちのどれか。解答番号は 。

- 1 学校における性教育を実施するに当たっては、PTA主催による地域住民を対象とした家庭教育学級の開催や青少年対策委員会等と連携した性に関する地域情報の収集など、家庭・地域社会との連携を推進し、保護者や地域の理解を得ることが大切である。
- 2 児童・生徒の性に関する情報については、その質や量の入手に差異がある。性教育を進めるに当たって、身体的・精神的発達や性的成熟には個人差があっても配慮せず、正しい知識を身に付けさせる必要がある。
- 3 学校において行われる性教育は、各教科・科目、道徳科、総合的な学習の時間・総合的な探究の時間及び特別活動において行われる集団的な場面で行う指導や援助と、性に関する健康相談等において行う個別的な指導に大別され、カリキュラム・マネジメントの視点に立った教科等横断的な性教育の全体計画や年間指導計画を作成することが必要である。
- 4 性教育が効果的かつ円滑に行われるよう、校長、副校長、主幹教諭・指導教諭、養護教諭等は、関係校務分掌組織との連絡・調整を図る。特に、教務、生活指導、保健・安全などの校務分掌組織や性教育に直接関わりの深い教科等の担当教員との連携を図ることが大切である。

特別支援教育の専門に関する問題

I 特別支援教育に関する次の各問に答えよ。

[問 1] 個別の教育支援計画に関する次の記述ア～エのうち、正しいものを選んだ組合せとして適切なものは、下の 1～6 のうちのどれか。解答番号は 19。

- ア** 個別の教育支援計画は、特別な教育的支援を必要とする児童・生徒一人一人の教育的ニーズを具体的な指導に反映させるために、単元や学期、学年ごとに学級担任が作成するものである。
- イ** 個別の教育支援計画は、障害のある児童・生徒一人一人のニーズを正確に把握し、教育の視点から適切に対応していくという考えの下、長期的な視点で乳幼児期から学校卒業後までを通じて一貫して的確な教育的支援を行うことを目的として作成されるものである。
- ウ** 個別の教育支援計画は、特別支援学校に在学する児童・生徒については作成しなければならないが、小・中学校若しくは義務教育学校又は中等教育学校の前期課程における特別支援学級の児童・生徒と、小・中学校及び高等学校において通級による指導が行われている児童・生徒については、必要に応じて作成するものとされている。
- エ** 個別の教育支援計画は、教育のみならず、福祉、医療、労働等の様々な側面からの取り組みが必要であり、関係機関、関係部局の密接な連携協力を確保することが不可欠であるとともに、作成に当たっては、保護者の積極的な参画を促し、計画の内容について保護者の意見を十分に聞いて計画を作成又は改訂することが必要である。

- 1 ア・イ
- 2 ア・ウ
- 3 ア・エ
- 4 イ・ウ
- 5 イ・エ
- 6 ウ・エ

[問 2] 次の記述**ア**～**エ**のうち、「共生社会の形成に向けたインクルーシブ教育システム構築のための特別支援教育の推進（報告）」（中央教育審議会 平成24年7月）に照らして正しいものを選んだ組合せとして最も適切なものは、下の**1**～**6**のうちではどれか。解答番号は 。

ア 共生社会とは、これまで必ずしも十分に社会参加できるような環境になかった障害者等が、積極的に参加・貢献していくことができる社会であり、誰もが相互に人格と個性を尊重し支え合い、人々の多様な在り方を相互に認め合える全員参加型の社会のことをいう。

イ インクルーシブ教育システムとは、人間の多様性の尊重等の強化、障害者が精神的及び身体的な能力等を可能な最大限度まで発達させ、自由な社会に効果的に参加することを可能とするという目的の下、障害のある者が社会に貢献できるようにするための場を提供する仕組みのことである。

ウ インクルーシブ教育システムにおいては、共生社会の実現を追求することから、個別の教育的ニーズのある児童・生徒であっても、学校卒業後の自立と社会参加を見据えて、全ての児童・生徒が同じ場で同じ内容を共に学べるようなシステム構築や環境整備を行うことが求められる。

エ 特別支援教育を推進していくことは、子供一人一人の教育的ニーズを把握し、適切な指導及び必要な支援を行うものであり、この観点から教育を進めていくことにより、障害のある子供や学習上又は生活上の困難のある子供だけではなく、全ての子供にとって、良い効果をもたらすことができるものと考えられる。

1 ア・イ

2 ア・ウ

3 ア・エ

4 イ・ウ

5 イ・エ

6 ウ・エ

[問 3] 障害のある人の生涯学習の推進に関する次の記述**ア**～**エ**のうち、「障害者の生涯学習の推進方策について－誰もが、障害の有無にかかわらず共に学び、生きる共生社会を目指して－（報告）」（文部科学省 学校卒業後における障害者の学びの推進に関する有識者会議平成31年3月）に照らして正しいものを選んだ組合せとして最も適切なものは、下の**1**～**6**のうちではどれか。解答番号は 。

ア 障害のある人の学びの環境整備を行うに当たっては、社会でよりよく生きることができるよう、本人の学びたい内容ではなく、社会生活に即した内容の学習を行うことが大切であり、学びが円滑に進むように、支援者が中心となって課題等を精選し、適切に準備を行う必要がある。

イ 学校教育における学びと学校卒業後における社会での学びとは質や内容が異なるため、これまで学校で行われてきた教育内容とは切り離し、社会で求められる内容を踏まえて、学校卒業後の新たな環境で必要とされる知識や技能を生涯にわたって学び続けられるようにする必要がある。

ウ 障害のある人は、学校卒業後、企業等において就労したり障害福祉サービスを利用したりしながら社会生活を送ることが多いため、日々の生活において円滑かつ継続的に学ぶことができるよう、生涯にわたる学びと福祉や労働、医療などの分野における取組との連携を強化する必要がある。

エ 障害のある人の学びの場づくりを進めることと並行して、障害に関する社会全体の理解の促進を図ることが極めて重要であり、障害のある人がどのようなことに困難を感じており、どのような配慮や支援があれば周りの人と共に学んだり交流したりしやすくなるのか、といったことについて、家族や支援者などの関係者だけでなく、社会全体の理解を進めていく必要がある。

1 ア・イ

2 ア・ウ

3 ア・エ

4 イ・ウ

5 イ・エ

6 ウ・エ

Ⅱ

学習指導要領に関する次の各問に答えよ。

[問 1] 次の記述**ア**～**エ**のうち、特別支援学校高等部学習指導要領の「総則」の「教育課程の編成」のうちの「生徒の調和的な発達の支援」に示されているものを選んだ組合せとして適切なものは、下の**1**～**6**のうちのどれか。解答番号は 。

ア 生徒相互のよりよい人間関係を育てるため、主に集団の場面で必要な指導や援助を行うカウンセリングと、個々の生徒の多様な実態を踏まえ、一人一人が抱える課題に個別に対応した指導を行うガイダンスの双方により、生徒の発達を支援すること。

イ 生徒が、学ぶことと自己の将来とのつながりを見通しながら、社会的・職業的自立に向けて必要な基盤となる資質・能力を身に付けていくことができるよう、道徳教育を要としつつ生徒が自己の在り方生き方を考える教育の充実を図ること。

ウ 生徒が、学校教育を通じて身に付けた知識及び技能を活用し、もてる能力を最大限伸ばすことができるよう、生涯学習への意欲を高めるとともに、社会教育その他様々な学習機会に関する情報の提供に努めること。

エ 複数の種類の障害を併せ有する生徒については、専門的な知識、技能を有する教師や特別支援学校間の協力の下に指導を行ったり、必要に応じて専門の医師やその他の専門家の指導・助言を求めたりするなどして、学習効果を一層高めるようにすること。

1 ア・イ

2 ア・ウ

3 ア・エ

4 イ・ウ

5 イ・エ

6 ウ・エ

[問 2] 次の記述ア～エのうち、特別支援学校高等部学習指導要領の「総則」の「教育課程の編成」のうちの「高等部における教育の基本と教育課程の役割」に示されているものとして適切なものには①を、適切でないものには⊖をそれぞれマークせよ。解答番号はアが 、イが 、ウが 、エが 。

ア 学校における体育・健康に関する指導を、生徒の発達の段階を考慮して、保健体育の時間において適切に行うことにより、健康で安全な生活と豊かなスポーツライフの実現を目指した教育の充実に努めること。

イ 生徒の発達の段階を考慮して、生徒の多様な体験活動など、学習の基盤をつくる活動を充実するとともに、家庭との連携を図りながら、生徒の学習習慣が確立するよう配慮すること。

ウ 学校における自立活動の指導は、障害による学習上又は生活上の困難を改善・克服し、自立し社会参加する資質を養うため、自立活動の時間はもとより、学校の教育活動全体を通じて適切に行うものとする。

エ 生徒の人間として調和のとれた育成を目指し、生徒の障害の状態や特性及び心身の発達の段階等並びに学校の基礎的環境整備や地域の実態を十分考慮して、適切な教育課程を編成するものとする。

Ⅲ

次の事例を読み、下の各問に答えよ。

生徒Aは知的障害特別支援学校中学部に在籍する知的障害のある生徒である。

生徒Aの様子

- ・ 知的障害の程度は、言葉での意思疎通が困難で、日常生活面など一部支援が必要。
- ・ 基本的な生活習慣はある程度自立しているが、衣服の着脱では教師の支援が必要。
- ・ 手先を使った活動では、①ぎこちなさや不器用さがみられる。
- ・ 音声言語は不明瞭で、発声や指さし、身振りやしぐさ、絵カード等で簡単なコミュニケーションをとろうとするが、②何を伝えたいのかが相手に伝わりにくいことが多い。
- ・ 音声言語による簡単な指示を理解することができる。
- ・ 集団での学習場面において、順番を待つなどのルールや決まり事を守るのが難しい。
- ・ 自分の気持ちや思いを一方向的に通そうとする場面がある。
- ・ 特定の教師との関わりが中心である。
- ・ 友達と協力して活動することが難しい。
- ・ 新しい場所や活動には不安になりやすく、積極的に取り組むことはあまりみられないが、見通しがもてるようになると集中して取り組むことができる。
- ・ 自分の思い通りにならないと情緒が不安定になり、混乱する場合がある。

(「特別支援学校教育要領・学習指導要領解説自立活動編(幼稚部・小学部・中学部)
(文部科学省 平成30年3月)」から作成)

[問 1] 次の記述ア～エのうち、下線部①について、「生徒Aの様子」や知的障害の特性を踏まえた生徒Aへの指導として、正しいものを選んだ組合せとして最も適切なものは、下の1～6のうちではどれか。解答番号は 。

- ア 毎回違った手先を使う学習を用意して、飽きずに課題に取り組めるようにする。
- イ はさみを使う指導では、切る形を直線から曲線へと段階的に指導する。
- ウ ひもにビーズを通す活動などで、両手や目と手の協応動作ができるように指導する。
- エ 衣服の着脱では、ボタンはめができるように指導してから、ボタン外しを指導する。

- 1 ア・イ
- 2 ア・ウ
- 3 ア・エ
- 4 イ・ウ
- 5 イ・エ
- 6 ウ・エ

[問 2] 次の記述ア～エのうち、下線部②について、「生徒Aの様子」や知的障害の特性を踏まえた生徒Aへの指導として、正しいものを選んだ組合せとして最も適切なものは、下の1～6のうちではどれか。解答番号は 。

ア 欲しいものを要求する場面で、ふさわしい身振りを指導する。

イ 発声が要求の表現となるように、教師が意味付ける。

ウ 相手の立場に合わせた言葉遣いなど、場面にふさわしい表現方法を身に付けさせる。

エ 内言語や言葉の理解には困難がないので、補助的手段を活用して意思の表出を促す。

1 ア・イ

2 ア・ウ

3 ア・エ

4 イ・ウ

5 イ・エ

6 ウ・エ

[問 3] 生徒Aは、高等部での学習や卒業後の生活を想定すると、他者からの指導や助言を受け入れられる人間関係の形成を図りながら、集団への参加を促し、ルールを守ることなどといった社会性を身に付けていく必要がある。そこで現時点で指導すべき目標を「教師や友達からの助言を受けながら、落ち着いて順番を守ることができる。」と設定した。この目標を達成するための具体的な指導内容として、次の記述ア～エのうち、正しいものを選んだ組合せとして最も適切なものは、下の1～6のうちではどれか。解答番号は 。

ア 状況に合わせてながら、友達に伝えたいことを絵カードから選択して伝える。

イ 文章で手順の書かれたメモを用意し、自分で読み上げながら作業をする。

ウ 学習場面で絵カードを用いて見通しをもてるようにし、順番を意識できるようにする。

エ 「うれしい」「くやしい」といった感情を教師と共有し、感情に名前があることを知る。

1 ア・イ

2 ア・ウ

3 ア・エ

4 イ・ウ

5 イ・エ

6 ウ・エ

IV 障害に関する次の各問に答えよ。

[問 1] 視覚障害のある児童・生徒に対する点字指導に関する次の記述**ア**～**エ**のうち、「点字学習指導の手引（平成15年 改訂版）」（文部科学省 平成15年）に照らして正しいものを選んで組合せとして適切なものは、下の**1**～**6**のうちのどれか。解答番号は 。

ア 点字学習の導入に当たって、触運動の統制、触空間の形成、言語の発達などの点字学習のレディネスの形成が大切である。

イ 日本の点字は、日本語の音に一対一で対応しているので、「ラッパ」は2音、「きゅうきゅうしゃ」は3音のようにリズム打ちで理解させることが必要である。

ウ 点字の読みにおいて、点字盤の使用を考えて、初期の段階から両手読みではなく、利き手だけで読むことができるように指導していく。

エ 点字を書く学習の初期段階では、書いた点字を裏返さずにそのまま読むことができるため、凸面書きの点字タイプライタによる学習が効果的である。

1 ア・イ

2 ア・ウ

3 ア・エ

4 イ・ウ

5 イ・エ

6 ウ・エ

[問 2] 聴覚障害者である児童・生徒に対する指導上の配慮事項に関する次の記述**ア**～**エ**のうち、特別支援学校学習指導要領解説各教科等編（小学部・中学部）（文部科学省 平成30年3月）に照らして正しいものを選んだ組合せとして最も適切なものは、下の**1**～**6**のうちではどれか。解答番号は

31

。

ア 意思の相互伝達には、聴覚活用、読話、発音・発語、文字、キョード・スピーチ、指文字、手話などの方法があるが、指文字、手話など視覚を中心とした方法は必ず選択・活用することが大切である。

イ 児童・生徒の保有する聴覚の活用では、必ずしも補聴器や人工内耳に限らず、例えば、水泳等の補聴器を装用できない場合の指導においては、教師の声を直に聞かせるようにすることなども含んでいる。

ウ 視覚等を有効に活用するため、視聴覚教材や教育機器、コンピュータ等の情報機器や障害の状態に対応した周辺機器を適切に使用することによって、指導の効果を高めることが大切である。

エ 言葉の意味を理解したり、それによつて的確な言語概念を形成したりするためには、できるだけ多くの言葉を覚え、体験していない事柄なども言葉で表現できるようにすることが大切である。

- 1 ア・イ
- 2 ア・ウ
- 3 ア・エ
- 4 イ・ウ
- 5 イ・エ
- 6 ウ・エ

[問 3] 肢体不自由の主な起因疾患と特徴に関する記述として最も適切なものは、次の 1～4 のうちではどれか。解答番号は 。

- 1 発育過程における脳の形成異常や様々な原因による脳損傷の後遺症を原因とする、進行性の脳の病変に基づく運動と姿勢の異常を脳性まひという。
- 2 遺伝性で、かつ筋原性の変性疾患であり、性染色体性のデュシャンヌ型及び筋強直性と、常染色体性の福山型及びベッカー型に大別される病態を筋ジストロフィーという。
- 3 椎弓の一部及び棘突起を欠損して脊柱管の後方の骨性保護が欠けたもので、嚢胞性と潜在性に大別される病態を二分脊椎という。
- 4 下半身の部分的な骨脆弱性、易骨折性を特徴とする疾患群で、コラーゲンの遺伝子異常により発症する病態を骨形成不全症という。

[問 4] 知的障害者である児童・生徒に対する教育を行う特別支援学校で行っている「各教科等を合わせた指導」に関する次の記述**ア**～**エ**のうち、正しいものを選んだ組合せとして最も適切なものは、下の**1**～**6**のうちではどれか。解答番号は 。

ア 日常生活の指導は、生活科を中心として各教科等の内容が取り扱われ、衣服の着脱、手洗いなどの基本的な生活習慣の内容や、挨拶、きまりを守ることなどの日常生活や社会生活において必要かつ基本的な内容を計画的に指導することで、児童・生徒の日常生活が充実し、高まるようにするものである。

イ 遊びの指導は、遊びを学習活動の中心に据えて取り組むことを通して、心身の発達を促していくものであり、指導の成果が、学習面、生活面の基盤となるよう、指導者が常に場や遊具等を限定することが必要である。

ウ 生活単元学習は、児童・生徒が生活上の目標を達成したり、課題を解決したりするために、一連の活動を組織的・体系的に経験することによって、自立や社会参加のために必要な事柄を実際の・総合的に学習するものであり、広範囲に各教科等の目標や内容が扱われる。

エ 作業学習は、作業活動を学習活動の中心にしながら、児童・生徒の働く意欲を培い、将来の職業生活や社会自立に必要な事柄を総合的に学習するものであり、作業学習で学習したことの成果が児童・生徒の将来の進路先に直接つながるよう、作業技術を向上させることを目的とする。

1 ア・イ

2 ア・ウ

3 ア・エ

4 イ・ウ

5 イ・エ

6 ウ・エ

[問 5] 病弱者である児童・生徒に対する指導に関する次の記述**ア**～**エ**のうち、特別支援学校教育要領・学習指導要領解説自立活動編（幼稚園・小学部・中学部）（文部科学省 平成30年3月）に照らして正しいものを選んだ組合せとして最も適切なものは、下の**1**～**6**のうちではどれか。解答番号は

34

。

ア 小児がんの経験がある児童・生徒の場合、治療後に起きる成長障害や内分泌障害等の晩期合併症のリスクがあることを理解して、体調の変化や感染症予防等に留意するなど、病気の予防や適度な運動や睡眠等の健康管理を自らできるようにする必要がある。

イ てんかんのある児童・生徒の場合、定期的な服薬により発作はコントロールできることが多いが、短時間意識を失う小発作の場合には、発作が起きているのを本人が自覚しにくいことから、自己判断して服薬を止めてしまうことがあるため、定期的な服薬の必要性について理解させるとともに、確実に自己管理ができるよう指導する必要がある。

ウ 糖尿病の児童・生徒の場合、従来から多い2型とともに、近年は食生活や運動不足等の生活習慣と関連する1型が増加しているため、血糖値を毎日測定して、病状に応じた対応ができるようにするとともに、適切な食生活や適度の運動を行うなどの生活管理を主体的に行い、病気の進行を防止することが重要である。

エ 二分脊椎の児童・生徒の場合、尿路感染の予防のために排泄指導、清潔の保持、水分の補給及び定期的に検尿を行うことに関する指導をするとともに、座位を変えることにより褥瘡^{じよくそう}ができることがあるため、頻繁に姿勢変換を行わないよう指導する必要がある。

1 ア・イ

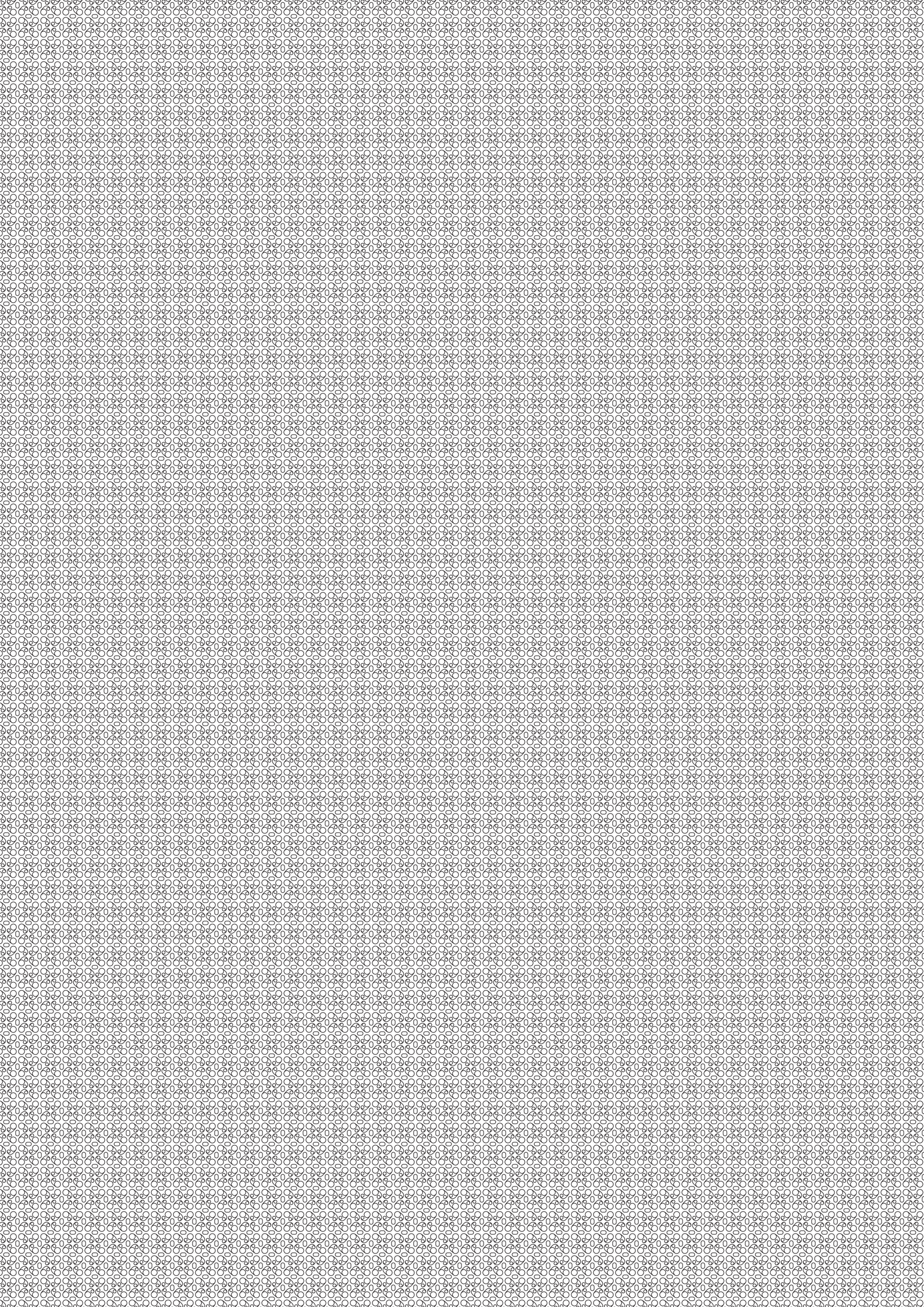
2 ア・ウ

3 ア・エ

4 イ・ウ

5 イ・エ

6 ウ・エ



3 問題文中の $\boxed{2}$ 、 $\boxed{34}$ などの \square には、数字又は符号（-）が入ります。次の(1)~(4)の方法でマークしてください。

(1) $\boxed{2}$ 、 $\boxed{3}$ 、 $\boxed{4}$ 、……の一つ一つは、それぞれ1~9、0の数字又は符号（-）のいずれか一つに対応します。それらを $\boxed{2}$ 、 $\boxed{3}$ 、 $\boxed{4}$ 、……で示された解答欄にマークしてください。

例えば、 $\boxed{234}$ に -84 と解答する場合には、次の(例2)のようにマークします。

(例2)

解答番号	解答欄
$\boxed{2}$	① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ●
$\boxed{3}$	① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ● ⑨ ⑩ ⊖
$\boxed{4}$	① ② ③ ● ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⊖

なお、同一の問題文中に $\boxed{2}$ 、 $\boxed{34}$ などが2度以上現れる場合、原則として、2度目以降は、 $\boxed{2}$ 、 $\boxed{34}$ のように細字で表記します。

(2) 分数形で解答する場合は、符号は分子に付け、分母に付けてはいけません。また、分数は既約分数で答えてください。

例えば、 $\frac{\boxed{56}}{\boxed{7}}$ に $-\frac{4}{5}$ と解答する場合には、 $\frac{-4}{5}$ として、次の(例3)のように

マークします。

(例3)

解答番号	解答欄
$\boxed{5}$	① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ●
$\boxed{6}$	① ② ③ ● ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⊖
$\boxed{7}$	① ② ③ ④ ● ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⊖

(3) 小数の形で解答する場合は、特に指示されていなければ、指定された桁数の一つ下の桁を四捨五入して答えてください。また、必要に応じて、指定された桁まで⑩にマークしてください。

例えば、 $\boxed{8.910}$ に 2.6 と解答する場合には、2.60 として答えてください。

(4) 根号を含む形で解答する場合は、根号の中に現れる自然数が最小となる形で答えてください。

4 「ただし、選んだ数字の小さい順にマークすること。解答番号は $\boxed{11}$ 、 $\boxed{12}$ 、 $\boxed{13}$ 。」と表示のある間に対して、 $\mathbf{2}$ と $\mathbf{5}$ と $\mathbf{8}$ と解答する場合には、次の(例4)のように「 $\mathbf{2}$ 、 $\mathbf{5}$ 、 $\mathbf{8}$ 」の順にマークします。

このとき、「 $\mathbf{2}$ 、 $\mathbf{5}$ 、 $\mathbf{8}$ 」以外の「 $\mathbf{5}$ 、 $\mathbf{2}$ 、 $\mathbf{8}$ 」や「 $\mathbf{8}$ 、 $\mathbf{2}$ 、 $\mathbf{5}$ 」などの順にマークした場合には、不正解となります。

(例4)

解答番号	解答欄
$\boxed{11}$	① ● ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⊖
$\boxed{12}$	① ② ③ ④ ● ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⊖
$\boxed{13}$	① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ● ⑨ ⑩ ⊖

2（3採用）【特別支援学校 中・高 保健体育】

問題番号		解答番号	正答1	正答2	正答3	配点	備考
大問番号	小問番号						
1	問1	1	4			4	
	問2	2	1			4	
	問3	3	4			4	
2	問1	4	3			4	
	問2	5	4			4	
	問3	6	3			4	
3	問1	7	2			4	
	問2	8	3			4	
	問3	9	4			4	
	問4	10	1			4	
	問5	11	4			4	
	問6	12	9			4	
4	問1	13	4			4	
	問2	ア	14	1		1	
		イ	15	—		1	
		ウ	16	—		1	
		エ	17	1		1	
	問3	18	2			4	
I	問1	19	5			3	
	問2	20	3			3	
	問3	21	6			3	
II	問1	22	6			3	
	問2	ア	23	—		1	
		イ	24	—		1	
		ウ	25	1		1	
		エ	26	—		1	
III	問1	27	4			3	
	問2	28	1			3	
	問3	29	2			3	
IV	問1	30	3			3	
	問2	31	4			3	
	問3	32	3			3	
	問4	33	2			3	
	問5	34	1			3	